

実際の都立の国語問題、あなたは解けますか？

〔平成22年度東京都立高校入試〕（部分掲載）

三 次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

サンダルを履いて、店の中をぐるっとひとまわりする間に、足は勝手に何度も止まる。ここに唐代の水瓶、あの棚に根来塗りの盆、こっちにはアケビの籠。床や棚にいつもの顔を見つけてほっとする。売れないことに安心していいんだろうか、とちよつとだけ思う。いいんだよ、と父なら言うだろう。好きなものが売れないことを父はたぶん本気でよろこんでいる。備前の皿、香炉、伊万里の猪口。そこにそれらがあつて、目が合うだけで、ふくふくとよろこびが湧き上がる。（4）順々に眺めながら、ゆつくり足を進める。視線を移す。

常滑の壺も、素性のよくわからない肌の美しい甕も、私を待っている。私に話しかけようと、じつと機会を窺っているように見える。気安く声をかけてくる陽気なもの、気難しそうにむつつりしているのも、性質はいろいろだけど、みな、眺められ、話しかけられるのを待っている。ときどき、なんと声をかけていいのかわからないのも並んでいる。そういうときは向こうから話しかけてくるのを待って、じつと耳を澄ますばかりだ。

伊万里の赤絵皿の前で立ち止まっていたときに、急に後ろから父に声をかけられたことがあった。足音にも気配にも気づかず皿を眺めていた私は小さく声を上げるほど驚いた。父は振り向いた私の肩に自分の両手を載せ、私が今まで見ていたものを見た。

(5) へえ、麻子はそれが好きなのか、と父は言った。ごく軽い調子だったけど、その声に込められたものを私は探ろうとし、すぐさま中止した。なにかくすぐったいような、ほんのちょっとだけ誇らしいような響きを私の耳が嗅ぎ分けたから。父が私の目を値踏みした。そうして、たぶん高い値を付けたのだ。

(宮下奈都「スコーレNo. 4」による)

〔問4〕 (4) 順々に眺めながら、ゆっくり足を進める。とあるが、「私」が「ゆっくり足を進める」わけとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア いつも見慣れた品物を見ていると自然に幸せな気持ちになり、品物の一つ一つと心を通い合わせようとするから。

イ 気に入った品物があふれている店内で思わずうれしさが込み上げ、どのように見て回ったらよいか戸惑ってしまうから。

ウ 父が今までに話してくれた品物の産地を思い起こしながら、時間をかけて自分なりにその価値を見極めようとするから。

エ 好きなものが売れ残っていることに喜びながらも、これほど良いものがなぜ売れないのかと心配になってしまうから。

〔問5〕 (5) へえ、麻子はそれが好きなのか、と父は言った。とあるが、あなたが麻子だとして、このときの麻子の気持ちを父に伝えるとしたら、どのように言うか。あなたの話す言葉を五十字以内でまとめて書け。なお、
、 や 。 など
もそれぞれ字数に数えよ。

論理と情熱の国語・読解サンプル

【語句説明】

（わかりにくい言葉は全て解説）

根来塗り

真言宗の総本山である根来寺やその近辺で主に日用品として作られた漆器

備前

現在の岡山県の南東部

香炉

香をたくための器で、香道や床の間の置物飾りなどにも用いられる

伊万里

佐賀県西部の市

猪口

上が開き下のすばまった小形のちかすき

ふくへん

やわらかくへんりょうでこなぬき

常滑

愛知県、知多半島の西岸にある市

素性

出所

気難しい

我が強かったり神経質であったりして扱いにくい

むつとり

口数が少なく、愛想のないさま

気配

周囲の状況から何となく感じられるようす

値踏み

値段を見積もってつけるといふ、評価

【解説】

（各選択肢のどこが間違いなのか全て解説、講師オリジナル解答例も）

問4 （4）順々に眺めながら、ゆっくり足を進める。とあるが、「私」が「ゆっくり足を進める」わけとして最も適切なのは、次のうちではどれか

○ なぜ「私」は「ゆっへん足を進める」のか。

↓73行目「床や棚にいつもの顔を見つけてほっとする。売れないと不安になっていいんだろっか、とちょっとだけ思っ」

↓77行目「目が合っただけで、ふくへんりょうやふんりびが湧き上がる」

↓79行目「常滑の壺も、素性のよくわからない肌の美しい壺も、私を待っている。私に話しか

けよう、じつと機会を窺っているように見える」

→いつも見る品物を見て喜びが湧き上がり、品物をじっくり見て心を通わせている

アいつも見慣れた品物を見ていると自然に幸せな気持ちになり、品物の１つ１つ心を通い合わせようとするから

→いつも見る品物を見て喜びが湧き上がり、品物をじっくり見て心を通わせているからという内容とこの文

イ 気に入った品物があるれている店内で思わずわくわくが込み上げ、そのように見て回ったりよいか戸惑ってしまったり

→8行目「順々に眺めながら」→この表現から、「よくよく見て回ったりよいか戸惑ってしまったり」とは読み取れないので×

ウ 父が今までに話していった品物の産地を思い起こしながら、時間をかけて自分なりにその価値を見極めようとするから

→「父が今までに話していった品物の産地を思い起こす」という部分は読み取れないので×

エ 好きなものが売れ残っていることに喜びながらも、いわば良いものがなぜ売れないのかと心配になってしまったり

→4行目「売れないことに安心してしまっているか、よくよくだけは思う」とある、「いわば良いものがなぜ売れないのかと心配になってしまったり」という部分を読み取れないので×

「正解」 ア

「問5」 (5) へえ、麻子はそれが好きなのか、と父は言った。とあるが、あなたが麻子だとして、このときの麻子の気持ちを父に伝えるとしたら、どのように言うか、あなたの話す言葉を五十字以内でまとめて書け

※ 線内に指示語が含まれている問題では、指示語の内容を明らかにしてから、答えるべき内容を考える

→答えるべき内容が何なのか明確になりやすさ

○ 60行目線 (5)「へえ、麻子はそれが好きなのか、と父は言った。」

→「それ」とは何から?

→60行目「伊万里の赤絵皿」

→「伊万里の赤絵皿」が好きなものか、と父は言った「うちの麻子の気持ちだよ。」

→2行目「よいかくすべったいものな、母のちやうどだけ證ひつものな響れを私の耳が嗅ぎ分けたから。父が私の目を値踏みした。そうして、たぶん高い値を付けたのだ」

→「自分の品物を見る目を認めてくれたものについて」「この内容が解題にどう関係

「解題例 (公文)」 品物ゆれがむなしく思ふだ、うちへでつて聴いてさうなところ。私はお父さんに證ひしやうなところだ。 (500字)

「解題例 (他題)」 私の品物を見る目を高くして證ひしやうなところだ。私はよく知っているゆれがむなしく思ふだ。 (500字)